

### 5人に1人は75歳以上



#### 地方の高齢者を取りまく課題

##### ひとり暮らし高齢者世帯が増加

- ・この20年で、高齢者のひとり暮らし世帯は約1.5倍（高齢者の3割はひとり暮らし）
- ・高齢者の約95%は現在の「地域に住み続けたい」と回答。約50%の高齢者は最後まで自宅での生活を希望

##### 生活支援などの情報を入手できていない高齢者の存在

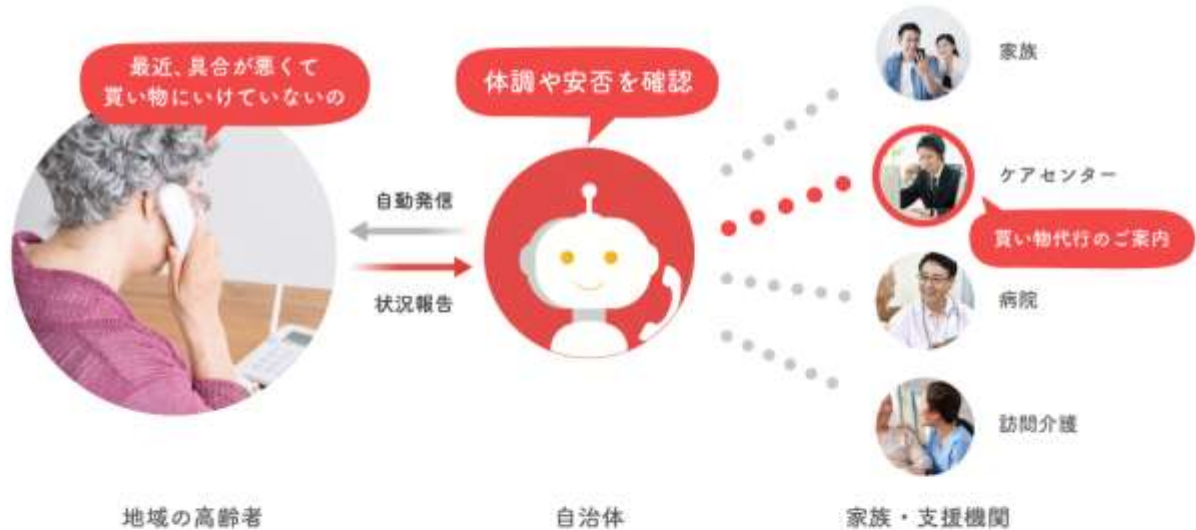
- ・ケアセンターなどの地域の支援機関からの情報発信は、Web、目覚まし、筒状紙、ロコに頼られる
- ・民間の窓口コミュニケーションも少なく、地域の取組みを知る機会がない高齢者もいる

##### 地域の人手が不足

- ・特に過疎化が進む地域での担い手が不足
- ・高齢者世帯への訪問を行っている自治体もあるが、訪問は1年に1回

### 高齢者と地域の支援者をつなぐ

「みまもり電話」は、AIが高齢者との会話を通して体調や安否を確認し記録します。さらに会話の内容から支援機関への連携の必要性和連携先を自動で判別し、情報を共有します。これまで人でしかできなかった、電話でのみまもりを自動化することで、自治体/支援機関は、人にしかできない支援に注力できます。



**24時間365日、いつでも繋がる  
固定電話でも OK**

アプリインストールや設定が不要なため、電話をお持ちの全ての高齢者にご利用いただけます

**これまででは対応しきれなかった  
「全ての高齢者世帯」への電話**

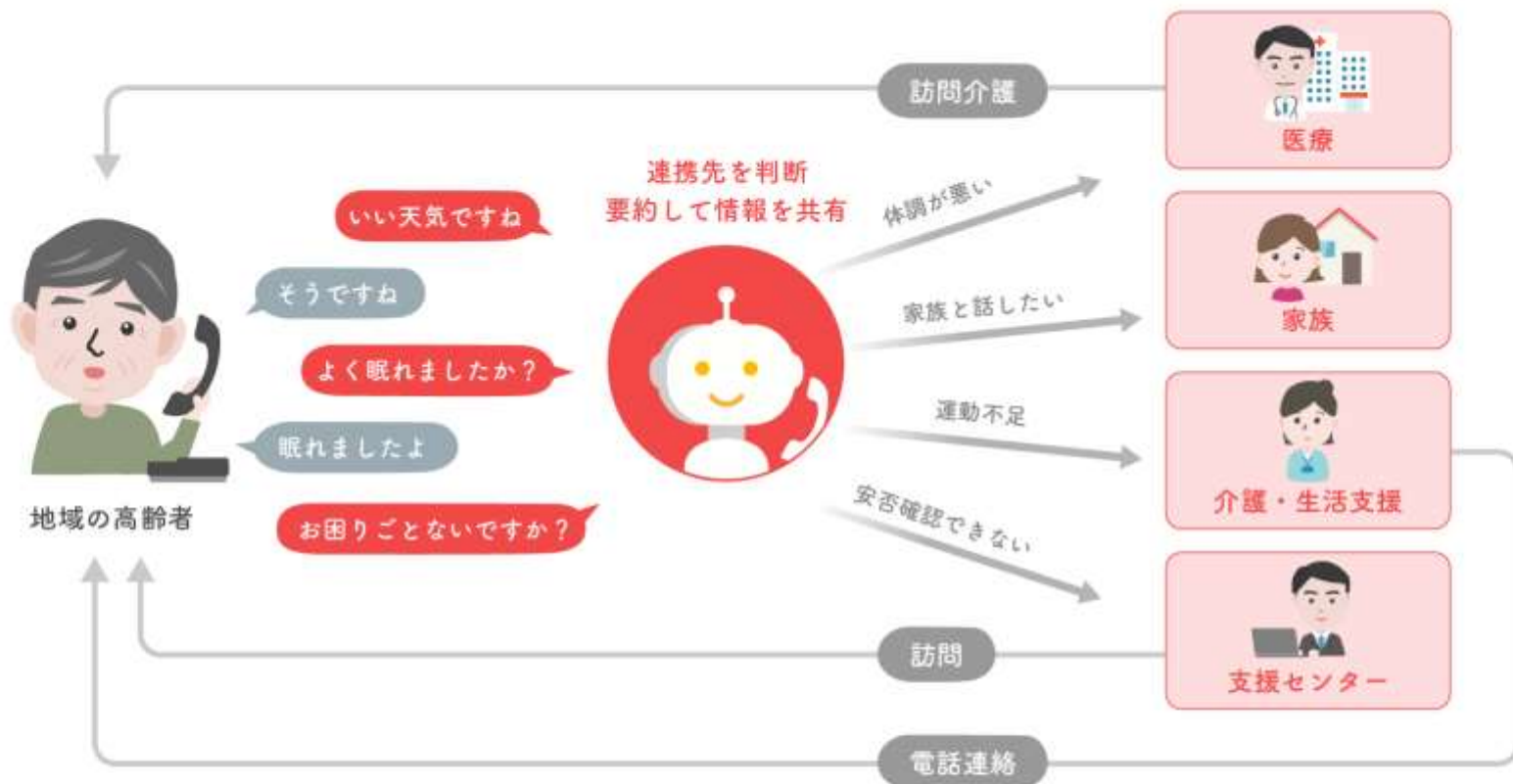
6万人の高齢者へ毎月、電話による状況の確認・情報の共有を行うために1年間に必要な7万2,000時間を自動化

**システム連携開発が不要  
導入が容易**

RPA (Robotic Process Automation) がパソコンを自動操作して、地域の支援機関の既存システムに情報を共有。



# 日常の会話を通じた・安否や体調の確認



## お困りごとへの対応

燃えるゴミの日？

毎週水曜日です



## 地域の催しの連絡

来月地域のお祭りがあります



## 災害時の連絡

避難してください！



一斉連絡



連絡がとれない

人が訪問